

技術・家庭 (家庭分野)

技術・家庭（家庭分野）の目標等について
<p>【教科の目標】</p> <p>生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。</p>
<p>【学年・分野・領域等の目標など】</p> <p>[家庭分野の目標]</p> <p>衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。</p>

【参考】

- 技術・家庭科については、その課題を踏まえ、実践的・体験的な学習活動を通して、家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、情報、産業等についての基礎的な理解と技能を養うとともに、それらを活用して課題を解決するために工夫し創造できる能力と実践的な態度の育成を一層重視する観点から、その内容の改善を図る。
 - その際、他教科等との関連を図り、社会において子どもたちが自立的に生きる基礎を培うことを特に重視する。
 - (ア) 家庭科、技術・家庭科家庭分野については、自己と家庭、家庭と社会とのつながりを重視し、生涯の見通しをもって、よりよい生活を送るための能力と実践的な態度を育成する視点から、子どもたちの発達の段階を踏まえ、学校段階に応じた体系的な目標や内容に改善を図る。
- 社会の変化に対応し、次のような改善を図る。
 - (ア) 少子高齢化や家庭の機能が十分に果たされていないといった状況に対応し、家族と家庭に関する教育と子育て理解のための体験や高齢者との交流を重視する。
 - 心身ともに健康で安全な食生活のための食育の推進を図るため、食事の役割や栄養・調理に関する内容を一層充実するとともに、社会において主体的に生きる消費者をはぐくむ視点から、消費の在り方及び資源や環境に配慮したライフスタイルの確立を目指す指導を充実する。
- 体験から、知識と技術などを獲得し、基本的な概念などの理解を深め、実際に活用する能力と態度を育成するために、実践的・体験的な学習活動をより一層重視する。また、知識と技術などを活用して、学習や実際の生活において課題を発見し解決できる能力を育成するために、自ら課題を見だし解決を図る問題解決的な学習をより一層充実する。
- 家庭・地域社会との連携という視点を踏まえつつ、学校における学習と家庭や社会における実践との結び付きに留意して内容の改善を図る。

○ 標準授業時数

第 1 学年－70単位時間

第 2 学年－70単位時間

第 3 学年－35単位時間

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・724	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
取扱内容 各学年の学習指導要領の総則及び各教科、 内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭分野の目標を達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「A家族・家庭と子どもの成長」において、これからの家族関係を考えられるように、家庭や家族の機能を知り、中学生にとっての家族について考えたり、幼児と触れ合ったりする活動 ・「B食生活と自立」において、中学生の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解できるように、栄養のバランスのとれた1日分の献立について考えたり、肉や魚、野菜の調理をしたりする活動 ・「C衣生活・住生活と自立」において、実生活の中でも実践できるように、住まいの安全や災害に備えた住まい方について考えたり、トートバッグやウォールポケットなどを製作したりする活動 ・「D身近な消費生活と環境」において、消費者として主体的に行動できるように、消費者トラブルを解決する方法について理解を深めたり、エネルギー消費を減らす方法について考えたりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「日本の食文化を追求しよう」や「地域の人と触れ合おう」など、学習を通して習得した知識や技能を活用する学習活動が取り上げられている。 			
内容の構成・ 排列、 分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、日本各地の郷土料理や地域の食材を活用した調理実習を取り上げ、生徒の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成するなど、発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「A家族・家庭と子どもの成長」は69ページ、「B食生活と自立」は87ページ、「C衣生活・住生活と自立」は83ページ、「D身近な消費生活と環境」は59ページであり、総ページ数は279ページで、前回より約8%増となっている。（B5判からA B判に変更） 			
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫について、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・食品の概量を手ばかり・目ばかりで示したり、幼児の靴や箸を実物大の写真で示したりするなど、学習内容についての課題意識や興味・関心をもたせるようにしている。 ・「ひとくちQ&A」を掲載したり、キャラクターが学習のポイントを示したりするなど、生徒が親しみをもって学習できるようにしている。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が必要に応じて調べたり、確認したりしながら学習を進めることができるよう、意思決定のプロセスの例示や調理、被服製作等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を「基礎技能」としてまとめた資料を掲載している。 ・学習課題を解決する際に、本文の内容をより深く理解する上で参考となる内容に「資料」のマークを付けて掲載している。 ○ 使用上の便宜については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、家庭分野の学習内容や学習の進め方、家庭分野のガイダンスを掲載し、生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるようにしている ・今日的な課題に関する学習内容に「環境」「消費者」などのマークを付けることやキャラクターが学習活動について、つぶやくことなど、多様な視点から学習できるようにしている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいフォントにするなど工夫されている。 			

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	6・教団	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・725	新技術・家庭 家庭分野
取扱内容 各学年の学習指導要領の総則及び各教科、 各学年の目標、内容等	<p>○ 家庭分野の目標を達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A 家族・家庭と子どもの成長」において、これからの家族関係を考えられるように、家族の役割や家族とのかかわり方について考えたり、幼児と触れ合ったりする活動 ・「B 食生活と自立」において、中学生の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解できるように、中学生の1日分の献立について考えたり、肉や魚、野菜などの調理をしたりする活動 ・「C 衣生活・住生活と自立」において、実生活の中でも実践できるように、安全な住まい方の工夫や自然災害への対策について考えたり、エプロンやきんちゃく袋などを製作したりする活動 ・「D 身近な消費生活と環境」において、消費者として主体的に行動できるように、消費者トラブルの解決法と予防法について理解を深めたり、消費行動が環境に与える影響について考えたりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「だれかのためにお弁当をつくってみよう」や「地域でボランティア活動しよう」など、学習を通して習得した知識や技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・ 排列、 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、全国各地の郷土料理や日本全国のお雑煮マップを取り上げ、生徒の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成するなど、発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「A 家族・家庭と子どもの成長」は65ページ、「B 食生活と自立」は78ページ、「C 衣生活・住生活と自立」は78ページ、「D 身近な消費生活と環境」は64ページであり、総ページ数は286ページで、前回とほぼ同様となっている。</p>			
使用上の 配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫について、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品や子どもの手形などを原寸大写真で示したり、料理の失敗例を示したりするなど、学習内容についての課題意識や興味・関心をもたせるようにしている。 ・「コラム」を掲載したり、キャラクターが学習のポイントを示したりするなど、生徒が親しみをもって学習できるようにしている。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が必要に応じて調べたり、確認したりしながら学習を進めることができるよう、キーワードチェック欄や各章の終わりに「学習のふり返り」、教科書の記述についての詳しい資料を掲載している。 ・学習課題を解決する際に、本文の内容をより深く理解する上で参考となる内容に「参考」のマークを付けて掲載している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、家庭分野の学習内容や学習の進め方、教科書の使い方を掲載し、生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるようにしている。 ・今日的な課題に関する学習内容に「安全」「環境」などのマークを付けることや、キャラクターが学習活動について、つぶやくことなど、多様な視点から学習できるようにしている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色にするなど工夫されている。 			

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	9・開隆堂	第1・2・3学年 家庭分野	家庭・726	技術・家庭（家庭分野）
取扱内容 各学年の目標・内容等 学習指導要領の総則及び各教科、	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭分野の目標を達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「A家族・家庭と子どもの成長」において、これからの家族関係を考えられるように、家庭のはたらきや家庭の仕事を支える社会について考えたり、幼児と触れ合ったりする活動 ・「B食生活と自立」において、中学生の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解できるように、中学生に必要な1日分の献立について考えたり、肉や魚、野菜の調理をしたりする活動 ・「C衣生活・住生活と自立」において、実生活の中でも実践できるように、家庭内での事故と安全対策や地震対策について考えたり、道具入れやショルダーバッグなどを製作したりする活動 ・「D身近な消費生活と環境」において、消費者として主体的に行動できるように、消費生活のトラブルへの対応について理解を深めたり、環境に配慮した消費行動について考えたりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「1日3食の献立を立てて食事をつくる」や「1日家事体験」など、学習を通して習得した知識や技能を活用する、学習活動が取り上げられている。 			
内容の構成・ 排列、分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、地域の食材を活用した郷土料理やおせちなどの行事食を取り上げ、生徒の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成するなど、発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「A家族・家庭と子どもの成長」は63ページ、「B食生活と自立」は78ページ、「C衣生活・住生活と自立」は72ページ、「D身近な消費生活と環境」は66ページであり、総ページ数は278ページで、前回より約5%増となっている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習意欲を高める工夫について、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・著名人や専門家の話を掲載したり、実物大の食品例を示したりするなど、学習内容についての課題意識や興味・関心をもたせるようにしている。 ・「豆知識」を掲載したり、キャラクターが学習のポイントを促したりするなど、生徒が親しみをもって学習をできるようにしている。 ○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が必要に応じて調べたり、確認したりしながら学習を進めることができるよう、教科書の記述を補足する図・表や「ミシンの使い方」などの小学校で学習した基礎的・基本的な内容を想起する資料を掲載している。 ・学習課題を解決する際に、本文の内容をより深く理解する上で参考となる内容に「参考」のマークを付けて掲載している。 ○ 使用上の便宜については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、家庭分野の学習内容や学習の進め方、教科書の使い方を掲載し、生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるようにしている。 ・今日的な課題に関する学習内容に「消費・環境」「防災」などのマークを付けることや、キャラクターが学習活動について、つぶやくことなど、多様な視点から学習できるようにしている。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色にするなど工夫されている。 			

＜技術・家庭（家庭分野）の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- ① 内容ごとのページ数及び総ページ数
- ② ガイダンス的な内容など学習の見通しをもたせる内容を取り上げているページ数
- ③ 製作や調理等の実習・実験を取り上げているページ数
- ④ 実習・実験の指導における安全と衛生を取り上げているページ数
- ⑤ 補充的な学習及び発展的な学習を取り上げているページ数
- ⑥ 学習への興味・関心を高めることができるような資料のページ数や北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数
- ⑦ 自ら進んで調べることができるような資料を取り上げているページ数
- ⑧ 環境、消費、日本の伝統、防災、人口減少問題等の今日的な課題を取り上げているページ数

◎調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている家庭分野の内容を適切に指導することが求められていることから、内容ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 小学校家庭科の学習を基盤として、学習を体系的に行うことが求められていることから、ガイダンス的な内容など、学習の見通しをもたせる内容の取扱いについて把握する必要があるため。
- ③ 実践的・体験的な学習活動の充実が求められていることから、製作や調理等の実習・実験の取扱いについて把握する必要があるため。
- ④ 実習・実験などの実践的・体験的な学習に当たっては、事故防止の指導を徹底し、安全と衛生に十分留意することが求められていることから、安全・衛生への配慮について把握する必要があるため。
- ⑤ 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、それらを活用する力をはぐくむことが求められていることから、補充的な学習及び発展的な学習の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑥ 学習意欲を高めることが求められていることから、興味・関心を高めることができる資料や北海道の素材を活用している資料の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑦ 生活を営む上で生じる課題を自分なりの判断をして解決する能力を育成することが求められていることから、自ら進んで調べることができる資料の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑧ 社会の変化に対応することが求められていることから、生活における今日的な課題の取扱いについて把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者		東書	教図	開隆堂
①	内容ごとのページ数 及び総ページ数 (※1)	A 家族・家庭と子どもの成長	ページ数	69	65	63
			割合(%)	25	23	23
		B 食生活と自立	ページ数	87	78	78
			割合(%)	31	27	28
		C 衣生活・住生活と自立	ページ数	83	78	72
			割合(%)	30	27	26
		D 身近な消費生活と環境	ページ数	59	64	66
			割合(%)	21	22	24
総ページ数(巻頭資料及び巻末資料含む)			279	286	278	
前回のページ数			258	287	266	
ページ数の増減			8%	0%	5%	
②	ガイダンス的な内容など学習の見通しをもたせる内容を取り上げているページ数			26	6	27
③	製作や調理等の実習・実験を取り上げているページ数(※2)			81	79	78
④	実習・実験の指導における安全と衛生を取り上げているページ数			18	10	15
⑤	いわゆる「補充的な学習」及び「発展的な学習」を取り上げているページ数(※3)	補充的な学習	10	19	22	
		発展的な学習	10	17	16	
⑥	興味・関心を高めることができるような資料のページ数(※4)	資料	61	61	44	
	北海道にかかわりのある内容を取り上げている資料の箇所数	北海道の素材	12	5	10	
⑦	自ら進んで調べることができるような資料のページ数(※5)			27	17	72
⑧	環境、消費、日本の伝統、防災、人口減少問題等の今日的な課題を取り上げているページ数(※6)	環 境	28	26	36	
		消 費	42	53	50	
		日 本 の 伝 統	17	18	26	
		防 災	12	3	13	
		人口減少問題	1	1	1	

(※1) 調査項目①については、次のとおりとする。

- ・総ページ数は、表紙及び裏表紙を除く全てを対象とする。
- ・内容ごとのページ数は、編修趣意書の対照表を基本とする。ただし、東書は、「もくじ」「さくいん」「学習のまとめ」「探究」マークの一部「発展」マーク、教書は、「もくじ」「さくいん」「家庭分野の学習をふり返ろう」「発展」マーク、開隆堂は、「巻頭資料」「巻末資料」「さくいん」「1～3ページ」のページは含まない。
- ・内容A～Dについて重複するページがあることから、総ページ数と内容ごとのページ数の合計が異なる。

(※2) 調査項目③については、東書は、「実習例」マーク、教図は、「実習」「実験」マークと「つくってみよう」、開隆堂は、「実習例」「製作例」「実験」マークを対象とし、さらに、各社、基礎技能の習得に関連する実習を対象とする。

(※3) 調査項目⑤の「補充的な学習」については、東書は、「振り返ろう」マークと「学習のまとめ」、教図は、「復習」「ふり返ろう」マークと「学習のふり返り」、開隆堂は、「ふり返り」と「学習のまとめ」を、「発展的な学習」については、三者とも、「発展」マークを対象とする。

(※4) 調査項目⑥については、東書は、「資料」マークを、教図は、「参考」「コラム」マークを、開隆堂は、「参考」マークを対象とする。

(※5) 調査項目⑦については、東書は、「生活に生かそう」マークと「生活の課題と実践」を、教図は、「学習をこれからの生活に生かそう」と「生活の課題と実践」を、開隆堂は、「課題」「探究」マークと「生活に生かそう」「生活の課題と実践」を対象とする。

(※6) 調査項目⑧については、東書は、「ひとくちQ&A」、開隆堂は、「豆知識」のみのページは含まない。

別記

様式4の調査項目② [ガイダンス的な内容など学習の見通しをもたせる内容を取り上げているページ数の具体的な内容

調査項目	東書	教図	開隆堂
ガイダンス的な内容など学習の見通しをもたせる内容を取り上げているページ	自分や家族・地域を守る日頃からの備え—家庭分野の学習で身につけよう— 4.5	家庭分野の学習を、はじめよう！ 口絵1.2	家庭分野の学習をはじめよう i. ii
	どんな学習をするのだろうか 8.9	わたしの成長と、家庭分野の学習 4.5	自立に向かって 2.3
	中学校家庭分野の学習内容を見てみよう 10.11	生活の課題と実践～生活をよりよくしよう～ 62.63	共生社会に向かって 4.5
	どんな自分になりたいかな 12.13		人やものとかかわりながら学ぼう 8.9
	問題を解決する道筋 14.15		A 家族・家庭と子ども の成長 10.11
	自分と家族の生活を見つめよう 16.17		わたしの成長と周囲の人びと 12.13
	家庭と地域での生活を見つめよう 18.19		B 食生活と自立 60.61
	私たちの食生活 20.21		C 衣生活・住生活と自立 146.147
	私たちの衣生活と住生活 100.101		1 住生活の自立 148
	私たちの成長と家族・地域 174.175		2 衣生活の自立 166.167
	私たちの消費生活と環境 224.225		D 身近な消費生活と環境 212.213
	生活の課題と実践の進め方 252～255		生活の課題と実践 246.247
			課題学習の進め方の例 248.249
			家庭分野の学習で、考えたり、判断したりする力や表現する力を身につけよう 260.261

様式4の調査項目④ [実習・実験の指導における安全と衛生を取り上げているページ数] の具体的な内容

調査項目	東書	教図	開隆堂
実習・実験の指導における安全と衛生を取り上げているページ	実習を楽しく安全に進めよう！ 6.7	ふれ合い実習の事前準備と注意点 53	幼児と遊ぶおもちゃづくり すぐ口に入れるので気をつける。 38
	食品や調理用具の衛生的な扱い方 包丁を使うときの注意 53	幼児がけがなどしたら連絡する 55	人に向けて遊ばない。 40
	火を使うときの注意 55	安全な調理実習のための確認 103	幼児の発達の特徴から、安全面について次の点に注意しよう 43
	肉には寄生虫や細菌がいることもあるので、中までしっかり火を通す。 食中毒予防 60	衛生的な調理～食中毒の予防～ (マーク無) 105	手洗いをしっかりしよう 45
	ハンバーグを厚くすると火が通りにくく、中心部が生焼けの状態になり、食中毒の原因になることがあるので注意する。 食中毒予防 62	ほうちょうの刃先は人に向けない。 107	煙が出るのでよく換気する。 やけどや火災などの事故を起こさないように注意する。 煮汁を冷まし、同量のエタノールを加える(火気に気をつける)。 71
	魚の切り身は、基本的には水洗いしないので、衛生的に扱うことが重要である。 食中毒予防 68	火加減の調節 108	安全と品質に関する食品表示 88
	さばなどの魚には、アニサキス寄生虫がいることもあるので、十分加熱する。 食中毒予防 70	住まいの手入れを安全に行うために 169	食物アレルギーとアレルギー表示 89
	じゃがいもの芽や緑色の部分は取り除く 76	アイロンの安全で正しい使い方 197	食中毒に注意しよう 100
	肉・魚・卵などは十分に加熱する 食中毒予防 83	安全につくるために 206	安全に調理実習をしよう 101
	取り扱い説明書をよく読むなど 120	縫うときは、針の下に指を入れない。 209	使用上の注意点 125
	アイロンを扱うときの注意 122		洗濯機使用の注意 182
	はさみの受け渡し 156		針の安全 192
	ミシンを扱うときの注意 157		はさみの安全 193
	幼児のおもちゃは安全な物であることが重要である。 幼児がストローをくわえて転ぶと危険なので、くわえる部分は短くする。 196		ミシンを使うときの注意 195
	ドングリなど洗えるものはきれいに洗う。 おもちゃの安全マーク 197		実習の製作中の安全と防災 270
爪を短く切る、幼児を肩より高く持ち上げないなど 203			
幼児にとっては慣れない場所なので安全に気を配る 206			

様式4の調査項目⑥ [興味・関心を高めることができるような資料のページ数や北海道にかかわりのある内容を取り上げている資料の箇所数] の具体的な内容

調査項目	東書	教図	開隆堂
興味・関心を高めることができるような資料のページ	朝食を食べよう 23	地域資源 14	ピアニスト辻井伸行さんの話 13
	食生活指針 25	豊かな家庭生活のために 15	家庭の仕事に費やす時間の比較 15
	1 kcalのエネルギー 27	ボランティア活動 NPO法人 24	中学生も地域のひとりと防災訓練 19
	スポーツと栄養 29	乳児期 幼児期 33	幼児期の反抗期 26
	手ばかり・目ばかり 36. 37	発達の方角性 35	発達支える安心感 一人ひとりの発達を大切に 27
	ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」食事バランスガイド 41	こんにゃく入りゼリーの表示 37	おもちゃの選び方 36. 37
	食品の表示やマーク 46	幼児のおやつをつくってみよう 38	家族関係を支える NPO 家族への思い 53
	非常食について 48	おもちゃについているマークの例 49	野口聡一さんに聞きました 62
	食品の廃棄率 52	中学生は幼児のあこがれの存在です。 55	あなたは食べ物でできています 63
	魚の下ごしらえ 67	身近な幼児とふれ合う機会を持たない場合の学習 57	食事と健康 65
	地域の伝統野菜 85	摂食障害とは 73	スポーツ栄養の専門家から 69
	全国各地の雑煮の例 86	栄養素の単位 76	日本型食生活 食事バランスガイド 79
	日本各地の郷土料理 88. 89	こんな症状、ありませんか？ 77	季節でちがう野菜の流通 84
	食品の安全を守る取り組み 91	食品の可食部と廃棄率 79	遺伝子組換え食品 86
	食生活を取り巻く問題を解決するための取り組み 93	食品成分表 83~85	加工食品をつくろう！ 91
	食品成分表 96~99	バランスのとれた食事献立例 90	食品の安全を守る取り組みと放射性物質の基準値 食の情報をもどのように判断していますか？ 93
	和服の文化に触れよう 108	トレーサビリティとは 96	ドレッシングのつくり方 97
	浴衣を着てみよう 109	食品の安全性を守るための仕組み 加工食品をつくったり、利用したりしてみよう 100	各地域で生産されている肉の利用 103
	地域に伝わる衣の文化の例 110	食中毒事件の原因物質 105	香辛料（スパイス）の役割 104
	日本の文様 111	ナイフとフォークの持ち方 112	日本周辺でとれる魚などの利用 111
衣服の種類 113	炊飯器の利用 すし飯と、そのアレンジ 117	各地域で生産されている野菜などの利用 119	
通信販売を利用する場合の注意点 115	カレールウを手づくりしてみよう カレーの香辛料のはたらき 118	正月の行事食 134	
国際規格を基に制定された記号 116	魚の三枚おろし 120	災害を経験した食の専門家の話 140	
衣服の着心地 ペットボトルから衣服へ 117	肉以外の材料のはたらき 122	日本食品標準成分表 2010 142~145	

クリーニング店の利用 122	肉料理のつけ合わせの例 123	室内の空気を汚染するもの 155
しみ抜き 123	卵の性質と調理 125	津波てんでんこ 159
環境に配慮した着方の工夫 126	青菜のゆで方 126	みんなの家 161
環境に配慮した繊維 127	乾物の調理の特徴 128	地域の安全 163
日本各地の住まいの例 住まいは地域の風景をつくる 133	和風だしのとり方 130	色・柄・形が与える印象 169
防犯対策 137	野菜の褐変防止・あく抜き 131	日本らしさ 170
地域の防災力を高める 地震が起きたときの対応 139	和食が無形文化遺産に 134	フェルト化 178
災害用伝言ダイヤル「171」 141	日本各地のうどん 139	衣服の「ときめき」収納 185
室内の結露 カビ、ダニの好む環境 143	日本全国のお雑煮マップ 141	ポケットのつけ方 197
緑のカーテン 147	間取り図とは 155	プロの道具入れ 198
気候風土に合わせた住まい 148	LDKって何のこと？ 157	コーディネート 204
布の成り立ち 154	災害用伝言ダイヤル 164	こだわりとは 217
ロックミシンとコンピュータミシン 159	シックハウス症候群 167	通信販売－購入前の確認ポイント 221
小さな工夫で楽しく自分らしく－飾りのいろいろ－ 165	着方による印象のちがいがい 179	インターネット、あなたはだいじょうぶ？ 227
採寸と補正 169	ゆかたの部分名称を確認しよう 182	知的財産権 230
角のきれいな仕上げ方 170	ゆかたをたたんでみよう 183	富山ライトレール 238
地域の人と関わることの大切さ 181	デメリット表示 186	
幼児期の身長と体重の発達 187	S、M、Lの表示は？ 187	
胃の大きさ 193	除菌・消臭スプレーと洗濯のちがいがい 193	
幼児の遊びにとって大切なこと 195	おもな裁縫道具製作実習の基礎 194	
共遊玩具のマーク 197	身の回りの布製品はどんなつくりになっているだろうか。 202. 203	
幼児のおやつ 198. 199	アイロンの安全な使い方 ミシンの安全な使い方 206	
男女共同参画社会基本法 217	方向のある模様のある布を使う場合 217	
さまざまな子育ての場 218	サービス＝タダ？ 231	
子どもを守る条約や法律 219	ネットショッピング ネットオークション 235	
未成年者の契約 227	クレジットカードの使用は借金 237	
安全、品質、福祉に関する表示やマーク 232	消費者契約法の規定で取り消すことができる契約について 247	
フェアトレード 241	消費者庁とは？ 249	
私たちにもできる省エネルギー 243	消費者の声で変わった商品の例	

		「お客様からの声は、宝物です」 257	
	環境に関する表示やマーク 246	地球温暖化の影響 261	
	江戸時代と循環型社会 250	グリーンコンシューマーになろう! 265	
		低炭素なまちづくり 266	
		ほんとうの豊かさってなんだろう? 267	
		地域で環境にかかわる仕事をする人たちの声をきいてみよう! 269	
北海道にかかわりのある内容を取り上げている資料の箇所	タンチョウのいる釧路湿原(北海道釧路市) 2	食品成分表を使い、じゃがいもの特徴をまとめてみよう。78	除雪ボランティア活動をする(北海道札幌市) 4
	風力発電の風車(北海道稚内市) 2	じゃがいもの場合 79	各地域で生産されている肉の利用 103
	ホワイトシチュー64	ムニエル 121	シチュー 109
	さけのムニエル 68	石狩なべ 137	日本周辺でとれる魚などの利用 111
	さけのホイルバター焼き 73	日本全国お雑煮マップ 141	ムニエル 114
	肉じゃが 76		各地域で生産されている野菜などの利用 119
	八列とうもろこし(北海道) 85		いももち 128
	石狩鍋(北海道) 89		チタタプ(アイヌ料理) 130
	優佳良織(北海道) 110		ちゃんちゃん焼き(北海道) 133
	日本各地の住まいの例(北海道) 133		気候風土と住まいの外観(北海道) 149
	竜巻が通過したことにより被害を受けた住宅街(北海道) 138		
	札幌市子育て支援総合センター 218		

様式4の調査項目⑧ [環境、消費、日本の伝統、防災、人口減少問題等の今日的な課題を取り上げているページ数] の具体的な内容

調査項目	東書	教図	開隆堂	
環境を取り上げているページ	計画、準備、調理50	安くて大量に買っても、食べきれないともったいないよね。95	持続可能な社会に向かって 6. 7	
	試食、後かたづけ51	きゅうり1本(100g)あたりの生産投入エネルギー量 97	おもちゃの選び方 36	
	後かたづけをする56	環境に配慮した調理実習をしよう 113	外遊びの工夫 37	
	エコクッキングに挑戦しようー材料を無駄なく使う工夫例ー 80.81	だしをとったあとのこんぶとかつおぶしを使ってつくだ煮をつくってみよう! 130	食品の表示 86	
	6よりよい食生活を目指して 90~93	地産地消(マーク無) 135	安全と品質に関する食品表示 88	
	衣服の活用 衣服の入手 113	洗剤に頼らない生活 169	食品の選択・購入と保存 加工食品をつくろう 90.91	
	ペットボトルから衣服へ 117	環境に配慮して、住生活を工夫したいね。 171	食品の安全と情報 92	
	よりよい衣生活を目指して 126.127	購入するときは、本当に必要かどうかを考えよう。 185	環境に配慮した調理(エコクッキング) 94.95	
	よりよい住生活を目指して 146.147	エコロジーな繊維製品 190	だしをとった後のこんぶとかつおぶし 99	
	自然の風を通す 149	洗剤の計量は正確に 193	食生活と環境とのかかわりエコクッキング(マーク無) 136	
	よりよい消費生活を目指して(一部マーク無) 240~250	補修しながら着れば、衣服を長持ちさせられるね。 195	食料生産と輸送 食品ロス(マーク無) 137	
	着なくなった衣服をリフォームしよう!ーお手軽ベストー 258	衣服はどこへ? 199	地産地消に取り組む(マーク無) 138	
		アップサイクル 220	これからの住生活と環境 環境共生住宅 164	
		第2章家庭生活と環境(マーク無) 258~269	ゼロ・エネルギー住宅 165	
		学習のふり返り 271	既製服選び 174	
	消費を取り上げているページ			環境に配慮した衣生活(マーク無) 206
				衣服のリサイクル(マーク無) 衣服と省エネルギー(マーク無) 環境に配慮した繊維(マーク無) 207
			環境への影響(マーク無) 219	
			暮らしの中のマーク 222.223	
			環境に配慮した消費生活 236~245	
			生活の課題と実践 256.257	
			指編みのアクリルたわし 259	
食品の選択と購入 44.45		おもちゃについてのマークの例 49	おもちゃの選び方 36.37	
食品の表示やマーク 46.47		あなたなら、どの商品を選択する? 87	食品の表示 86	
準備 50		調理の計画と食品の選択	安全と品質に関する食品表示 88	

		生鮮食品の購入 (マーク無) 94~96	
よりよい食生活を目指して 90~93		加工食品の購入 (マーク無) 98.99	食品の選択と購入 90
衣服の入手 113		食品の安全性を守るための仕組み (マーク無) 100	加工食品をつくろう 91
必要な衣服を選択しよう 114.115		地域でとれた食材の利用 135	食品の安全と情報 92
共遊玩具のマーク おもちゃの安全マーク 197		衣服の入手(マーク無) 184	環境に配慮した調理 (エコクッキング) 94.95
4編私たちの消費生活と環境 224~250		第1章わたしたちの消費生活(マーク無) 228~257	だしをとった後のこんぶとかつおぶし 99
身の回りのユニバーサルデザイン 268		第2章家庭生活と環境(マーク無) 258~270	生産者と消費者の協力(マーク無) 137
社会の中のユニバーサルデザイン 269			地産地消に取り組む(マーク無) 138
			既製服選び 174
			衣服のリサイクル(マーク無) 206.207
			1 家庭生活と消費 214.215
			2 商品の選択と購入 216~223
			3 よりよい消費生活のために 224~235
			4 環境に配慮した消費生活 234~241
			もったいない242.243
			身近な消費生活 245
			生活の課題と実践 256.257
日本の伝統を取り上げているページ	ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」 41	年中行事とわたしたちの暮らし 口絵3~7	伝承遊び 36
	だし汁の作り方 57	昔から伝わる伝承遊びや昔の遊び道具について(マーク無) 49	自然や伝統文化との共存(マーク無) 55
	地域の伝統野菜 85	和風だしのとり方(マーク無) 130	日本の食文化を支える大豆 83
	全国各地の雑煮の例 86	和食が無形文化遺産に(マーク無) 134	日本料理の基本マナー 98
	行事食を作ろう 87	全国各地のおもな郷土料理(マーク無) 136.137	だし汁 うま味の食文化 99
	日本各地の郷土料理 88.89	お正月のお雑煮をつくってみよう(マーク無) 140	伝統野菜 119
	和服の文化に触れよう 108	日本全国のお雑煮マップ(マーク無) 地域の伝統的な器(マーク無) 141	いももち わらびもち 128
	浴衣を着てみよう 109	日本の伝統的な住まい(マーク無) 150.151	地域の食材と郷土料理 130~133
	地域に伝わる衣の文化の例 110	日本のいろいろな地域の住まい(マーク無) 152	正月の行事食 134
	日本の文様調べてみよう 111	身近な和服を見てみよう(マーク無) 181	和食 日本人の伝統的な食文化 135
	日本の住まいと住まい方 132	ゆかたの部分名称を確認しよう 182	日本の特徴ある住まいを見てみよう 149
	住まいは地域の風景をつくる 133	ゆかたをたたんでみよう 183	和風の住まい 153
	自然の風を通す 149		日本の伝統的な民家(マーク無) 165

	あずま袋 161		日本らしさ 170
	江戸時代と循環型社会 250		伝統に息づく和服の文化 172
	日本の食文化を追求しよう-我が家のお雑煮- 257		ゆかたを着てみよう 173
			文様の例 201
			江戸時代の循環型社会 243
			おせち料理を研究する 253
			和装のTPOを調べる 草木染に挑戦 個性を出せるエコバッグ 255
			伝統を受け継ぎ、生活に生かす 271、272、iv
防災を取り上げているページ	自分や家族・地域を守る日頃からの備え 4.5	自然災害への対策 (マーク無) 164	中学生も地域の人びとと防災訓練 19
	非常食について 48	わが家の防災対策 (マーク無) 226.227	避難時に幼児がいる家族に必要なもの 28
	災害に備えた住まい方について考えよう 138~141		幼児の発達の特徴から、安全面について次の点に留意しよう 43
	共同住宅での防災訓練 146		災害にあったときの食事は? 140
	ウォールポケット 166		災害への備え (マーク無) 158.159
	防災リュック 167		災害時の住まいと暮らし (マーク無) 160
	地域の人と関わることの大切さ 181		防災リュック (マーク無) 203
	災害に備えた住まい方を工夫しよう-防災マニュアル作り- 259		災害に備えて避難場所や持ち出すものを家族で確認する 251
			家の安全対策をチェックする 254
			安全と防災 家族・地域で取り組む防災対策 中学生も地域防災の担い手 実習・製作中の安全と防災 268~270
人口減少問題等を取り上げているページ	少子化等によるさまざまな子育ての場の広がり 218	高齢化による高齢者のひとり暮らしの増加 9	少子化等による子どもの遊びの環境の変化 37

※別記として取り上げている内容の記載の仕方については、見出しや題目等の表記がなく文章として表現している箇所やページの内容を、一部要約した形で記載している。